

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	53 射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり	変更回数	4	重点計画の該当	
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	射水市		
計画の目標					

物流拠点（企業団地等）へのアクセス道路を整備し、活力ある地域づくりを行う。
 歩行者・自転車に安心して通行できる道路整備を行う。
 冬期間の積雪時において、安全に通行できる道路網を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・平成25年度の企業団地等の分譲済面積を、平成29年度まで約10%増加させる
- ・歩行者・自転車に係る交通事故発生件数を、75件（H25）から65件（H29）へ減少させる。
- ・冬期（12月～3月）の交通事故発生件数を、143件（H25）から125件（H29）へ減少させる。

定量的指標の定義及び算定式

企業団地等の分譲済面積から増加率を算出する。
 （企業団地等分譲済面積の増加比率）＝（評価時点の企業団地等分譲済面積－H25企業団地等分譲済面積）／（H25企業団地等分譲済面積）
 市内における歩行者・自転車に係る交通事故件数を集計する。
 市内における毎年の冬期（12月～3月）の交通事故件数を集計する。

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 （H25当初）	中間目標値 （H27末）	最終目標値 （H29末）	備考
75件 / 年	70件 / 年	65件 / 年	
143件	135件	125件	

全体事業費	合計 （A + B + C + D）	875 百万円	A	875 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0.0%
-------	-----------------------	------------	---	------------	---	----------	---	----------	---	----------	-----------------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
53-A1-01	道路	一般	射水市	直接	市町村道	改築（他）堀内土合線 堀内	拡幅整備 0.88km	射水市						76			
53-A1-02	道路	一般	射水市	直接	市町村道	交安（他）塚原47号線 松木	歩道整備 0.69km	射水市						136			
53-A1-03	道路	一般	射水市	直接	市町村道	改築（他）三ヶ34号線 三ヶ・稲積	歩道整備 1.47km	射水市						257			
53-A1-04	道路	雪寒	射水市	直接	市町村道	除雪（1）太閤山環状線 ほか	除雪 194.3km	射水市						75			
53-A1-05	道路	一般	射水市	直接	市町村道	交安（1）大門針原線 二口	歩道整備 1.70km	射水市						113			
53-A1-06	道路	一般	射水市	直接	市町村道	改築（他）池多615号線 池多	拡幅整備 0.42km	射水市						151			
53-A1-07	道路	一般	射水市	直接	市町村道	改築（他）今井北高木線 今井・新開発	拡幅整備 0.40km	射水市						67			
合計													875				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計													0				

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

交付金の執行状況

(単位:百万円)

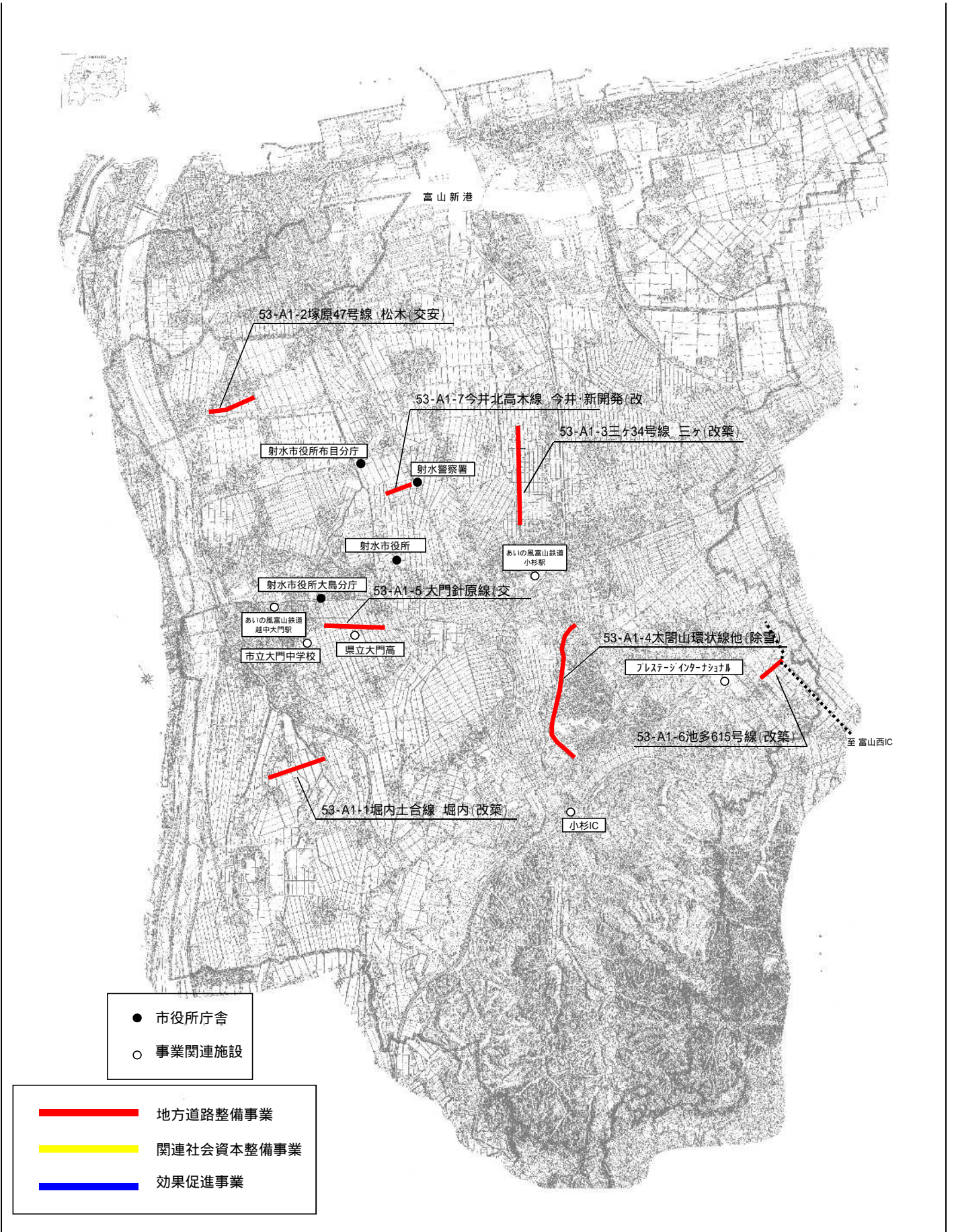
	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	77	61	86		
計画別流用 増減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	77	61	86		
前年度からの繰越額 (d)	4	2	0		
支払済額 (e)	79	63	71		
翌年度繰越額 (f)	2	0	15		
うち未契約繰越額 (g)	2	0	8		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	2.5%	0.0%	9.3%		
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-		

平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

別紙5-1

計画の名称	53 射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり	変更回数	4
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	射水市



社会資本総合整備計画 事前評価調書

計画の概要	計画の名称	射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり
	交付対象	射水市
	計画期間	平成25～29年度(5年間)
	計画の目標	物流拠点(企業団地等)へのアクセス道路を整備し、活力ある地域づくりを行う。 歩行者・自転車が安心して通行できる道路整備を行う。 冬期間の積雪時において、安全に通行できる道路網を確保する。
	定量的指標 (目標値)	・平成25年度の企業団地等の分譲済面積を、平成29年度まで約10%増加させる。 ・歩行者・自転車に係る交通事故発生件数を、75件(H25)から65件(H29)へ減少させる。 ・冬期(12月～3月)の交通事故発生件数を、143件(H25)から125件(H29)へ減少させる。
対象事業	道路事業	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	射水市総合計画の「企業誘致の推進」「地域をつなぐ道路網の整備」の施策に整合している。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	射水市総合計画の市民ニーズ実態調査結果より、「交通安全対策の推進」は重要度が高く満足度も高い施策として、今後も継続的な施策の推進が必要であり、「活力ある工業の振興」や「雪に強いまちづくりの推進」は重要度が高く満足度が低い施策として、今後、優先的に対応が求められている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に合せた定量的指標としている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	実績を基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標としている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	実績を基にした指標であり、中間・事後評価を実施できる。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業地区の地縁団体と事前に協議を重ね、円滑に事業を実施できる環境が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	要素事業の位置付けにあたり、地元関係者からの強い要望を確認している。
評価結果	<p>○ 評価 事業を実施</p> <p>○ 評価 計画の見直し</p>	<p>【評価基準】</p> <p>「評価」は、全項目に○印が付いているもの</p> <p>「評価」は、1項目でも×印が付いているもの</p>	